



# レンジャーになりたい



令和4年度入省予定  
環境省総合職自然系 内定者の声

# はじめに

この度は、令和 3 年度版『内定者の声』をご覧いただきありがとうございます。本冊子は、環境省自然系職員を志望する方々を主な対象として、令和 4 年度入省予定の総合職自然系内定者の体験談を基にまとめたものです。国家公務員試験や官庁訪問に関する日程から、対策方法や選考を通した雑感をざっくばらんに記載しております。環境省に OB・OG がいない方、説明会等に中々参加出来ない方など、採用等に関する情報を手に入れにくい方々にも、公平に有益な情報をご提供出来ればと思います。

未だ収束の見えない新型コロナウイルスの影響下の中、積極的に情報を入手するのも難しい状況と思います。この『内定者の声』が、環境省へのご理解やご興味を深める契機となり、皆様の進路選択の一助となれば幸いです。

令和 3 年度 環境省総合職自然系 内定者一同

## ※その他情報について

各職種の詳しい業務内容やお知らせ、試験などに関する最新の情報については、環境省および人事院のホームページをご覧ください。

『環境省ホームページ <http://www.env.go.jp/> 』

『環境省総合職自然系ページ [http://www.env.go.jp/guide/saiyo/cat\\_g3/index.html](http://www.env.go.jp/guide/saiyo/cat_g3/index.html) 』

『環境省レンジャーの仕事

[http://www.env.go.jp/guide/saiyo/info/pamph/ranger\\_web.pdf](http://www.env.go.jp/guide/saiyo/info/pamph/ranger_web.pdf) 』

『人事院国家公務員試験採用情報 NAVI <https://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.html> 』

### ◆表紙の写真◆

内定者有志から集めた写真です。上から時計回りに

- ① 雲仙岳を背景に飛ぶナベヅルの群れ/雲仙天草国立公園
- ② 北岳から間之岳を望む/南アルプス国立公園
- ③ 母島のオガサワラオオアリ/小笠原国立公園
- ④ 黒滝山から朝焼けの瀬戸内海/瀬戸内海国立公園
- ⑤ 馬の背とオアシス/山陰海岸国立公園

就職活動の息抜きに、それぞれの写真について撮影者の思いなどを考えてみると面白いかもしれません。

# 目次

基礎情報.....	- 3 -
内定者の概要.....	- 6 -
内定者からの情報.....	- 7 -
Aさん.....	- 7 -
Bさん.....	- 10 -
Cさん.....	- 13 -
Dさん.....	- 17 -
Eさん.....	- 22 -
Fさん.....	- 25 -
Gさん.....	- 28 -
Hさん.....	- 32 -
受験で使った参考書一覧.....	- 35 -

# 基礎情報

\* 令和 3 年度 国家公務員総合職試験および内定までの流れ \*

令和 4 年度の日程は国家公務員採用情報 NAVI をご確認ください。

( <https://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.html> )

日程	内容	備考
2/1	受験案内の HP 掲載開始日	
3/26~4/5	申込受付期間 (インターネット)	
4/25	第 1 次試験日 午前：専門試験 (多肢選択式) 午後：基礎能力試験 (多肢選択式)	服装自由 翌日 HP に解答掲載
5/7	第 1 次試験合格者発表	HP に掲載、合格通知書 (2 次試験の 日時・会場の通知)
5/23	第 2 次試験 (筆記試験) 午前：専門試験 (記述式) 午後：政策論文※ (大卒のみ)	服装自由
※政策論文試験では課題文と資料が与えられ、小論文形式で解答します。過去問請求が可能です。		
5/25~6/11	第 2 次試験 (大卒のみ) 人物試験※	日時変更は原則不可 <u>提出物 (外部英語試験の証明書類、 面接カードなど) に注意!</u> スーツ (クールビズ推奨)
※人事院が実施する面接官 3 名対受験生 1 名の面接で、時間は一人 20 分程度です。 基本的に、当日提出する面接カードに沿った内容を質問されます。		
6/3~14	第 2 次試験 (院卒のみ) 人物試験、政策課題討議試験※	同上
※政策論文試験と同じく課題と資料が与えられ、内容について 5~6 人 1 組で意見発表や 討議を行い、試験官 3 名がその様子进行评估します。過去問は請求できません。		
6/21	最終合格者発表	HP に掲載、合格通知書
6/23~25	官庁訪問 第 1 クール	※Web 面接
6/28~30	官庁訪問 第 2 クール	スーツ (クールビズ推奨)
7/6	内々定解禁	

#### \* 環境省のお仕事について \*

環境省の職員は、事務系、理工系、自然系の3つに分かれています。

自然系職員（通称レンジャー）の業務内容等については、環境省総合職自然系ページ上に掲載されているパンフレットをご覧ください（※下記リンク参照）。

（環境省レンジャーの仕事 [http://www.env.go.jp/guide/saiyo/info/pamph/ranger\\_web.pdf](http://www.env.go.jp/guide/saiyo/info/pamph/ranger_web.pdf)）

#### \* 試験区分 \*

環境省総合職自然系は、森林・自然環境区分もしくは化学・生物・薬学区分から採用されます。令和4年度入省予定者8名のうち、森林・自然環境区分（院卒）が6名、化学・生物・薬学区分（院卒）は2名でした※。総合職では、試験区分による入省後の業務内容の違いはありません。

試験内容、配点、出題分野等の詳細や最新情報については、国家公務員試験採用情報 NAVI の受験案内をご参照ください。

（国家公務員採用試験受験案内一覧

<https://www.jinji.go.jp/saiyo/siken/jyukennannnaiichiran.html>）

※試験区分（森林・自然環境／化学・生物・薬学）及び卒業区分（大卒者試験／院卒者試験）の選択は採用の可否に全く影響しません。

#### \* 官庁訪問 \*

##### ◆ 官庁訪問とは？

官庁訪問とは、各省庁に採用してもらうためのいわゆる『採用面接』です。人物試験と同様に、面接カードを提出したうえで面接を行います。人事院の実施する総合職試験に最終合格すると、3年間有効の合格者名簿に名前が載ることになりますが、合格＝採用ではありません。官庁訪問こそ志望省庁から採用されるための最後にして最大の難関とも言えます。

総合職の官庁訪問は、訪問開始以降、第1クール～第5クールまでの日程（クール制）で行われ、その後、内々定解禁という流れになります。原則として1クールにつき1つの省庁への訪問は1回で、通過すれば次のクールの官庁訪問も行うことができます。

令和3年度の官庁訪問の詳細については、下記をご参照ください。

（総合職試験（院卒・大卒）採用までの流れ（令和3年度）

[https://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo/sougou/saiyo\\_sougou02.html](https://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo/sougou/saiyo_sougou02.html)）

官庁訪問では複数の志望省庁を訪問することになると思います。通常は志望度の高い省庁から順に訪問しますが、環境省自然系では2日目以降に訪問したからといって採用されないということはありません。官庁訪問の日程やルール等については、毎年人事院より発表

されますが、次のクールの訪問日が省庁側から指定される場合と、こちらが選べる場合があるなど、各省庁によって具体的な進め方が異なります。可能であれば志望する省庁の OB・OG 等に尋ねて、どの省庁を何日目に訪問するか事前に計画しておきましょう。また、遠方の方はかなり長期戦(約 2 週間)になるため、ホテルや飛行機の手配などを早めに行うことをおすすめします。

◆ 環境省の官庁訪問について

令和 3 年度の環境省総合職自然系の官庁訪問は個人面接のみ、第 1 クールと第 2 クールの計 2 日間実施されました。第 1 クールは Web による面接で、事前の予約が必要でした。第 2 クールは、第 1 クールの結果通知メールで指定された日時に環境省本省を訪問しました。

※上記の内容は全て令和 3 年度の情報です。最新の情報や詳細については人事院や環境省の採用ホームページ、あるいは必要に応じて採用担当者に確認してください。

※令和元年度(平成 31 年度)までは、第 1 クールから環境省本省での面接であり、初日のみ先着順、2 日目以降は事前予約が必要でした。定員は一日に 20 名程度ですが、面接順は採用の可否に全く影響しません。

# 内定者の概要

下の表には内定者の試験の受け方や研究テーマ、趣味などが整理されています。次章で読みたい人を探すきっかけとなれば幸いです。

	Aさん	Bさん	Cさん	Dさん	Eさん	Fさん	Gさん	Hさん
試験区分	森林・自然環境						化学・生物・薬学	
卒業区分	院卒							
専攻	森林生態学	森林生態学	進化生物学	造園学	生圏システム	生物材料科学 (林産学)	獣医学 (病理学)	生物多様性 生態学
選択科目 1次試験	森林環境科学				造園学原論 造園材料	木材特性 木質構造	生化学・分子生物学、 遺伝学・進化学、 細胞生物学・放射線生物学、 生態学・系統分類学	
	森林資源科学			造園計画 (都市公園)		木材加工 材質改良	食品学	土壌肥料・環境 ・農学
	造園計画 (自然公園)					木材成分利用		応用微生物 ・生物工学
2次試験	自然環境 公園緑地	森林科学			自然環境 公園緑地	木材等 林産物	食品学 生化学	遺伝学 生態学
ガクチカ	部活動	部活動 アルバイト 研究活動	部活動 研究活動	自転車旅 研究活動	部活動	部活動	サークル活動	サークル活動 研究活動
研究テーマ	鳥類群集と 森林構造の関係	アリの戦略間 トレードオフ	有性生殖の 進化	自然公園の 利用と管理	文化的サービス 評価と地域愛着 の関係性	木材企業の 情報開示と 株主価値の関係	エキゾ動物の 腫瘍	ミミズの 種多様性 ・形態進化
趣味	野鳥観察 登山 サイクリング	サイクリング バードウォッチング アリの飼育	読書 図書館巡り	登山 高山植物の観察 バイクツーリング 野球観戦	トレイルランニング 観葉植物の世話	登山 スキー 家庭菜園 フィールドホッケー	音楽鑑賞 サイクリング 水泳	キノコ山菜採り スポーツ観戦 バイク
併願先	国家一般職 木材専門商社 パルプ・製紙企業 シンクタンク	国家一般職 陸上自衛隊 地方公務員 建設コンサル	国家一般職 地方公務員 独立行政法人	国家一般職 地方公務員 シンクタンク	なし (既卒)	環境コンサル メーカー	独立行政法人 開発コンサル	地方公務員 メーカー

# 内定者からの情報

志望動機や試験対策・官庁訪問等の体験について内定者が書きました。

## Aさん

### (1)プロフィール・試験区分等

【最終学歴】 修士課程修了見込

【学年・性別】 修士2年・男

【専攻科目】 森林生態学

【試験区分】 森林・自然環境（院卒）

【参加した説明会】 インターンシップ（修士1年 秋）、オンライン説明会（9回）

【ガクチカ】 体育会サイクリング部の活動など

【併願先】 国家一般職、木材専門商社、パルプ・製紙企業、シンクタンク

### (2)志望動機

私は幼い頃から生物に興味があり、特に鳥類に関しては小学4年生の頃から観察を続けてきました。趣味を通じた自然との触れあいの他、大学時代の学び、部活動や山小屋でのアルバイトの経験などの多様な経験・体験を経て、自然環境の価値が広く認められ、保全と持続可能な利用が両立するような自然共生社会の実現に貢献したいと考えるに至りました。そのような思いから、“環境問題”を軸にルールメーカーとして幅広い政策課題に取り組むことができる、環境省総合職自然系を志望しました。

### (3)体験記

#### ●勉強方法

##### 【1次：基礎能力試験】

まず前提として、私の場合は、国家公務員試験に確実に合格したいという思いがあったため、かなり早くから対策を開始していたという点については留意してください。具体的なスケジュールとしては、数的処理は試験前年の8月頃から先行して対策を始め、その他は12月頃から段階的に、時事問題は「速攻の時事」が発売される2月ごろから始めました。勉強



方法は、参考書ベースで苦手分野を特定・克服し、過去問で現状の実力を試すといった形をとりました。その際、なるべく多くの問題に当たり、間違えた問題についてのみ目を空けてから再度解くといった、物量勝負でありつつもメリハリを付けることを心がけました。

#### 【1次：専門多肢選択試験】

専門試験に関しては、11月頃から始めています。参考書がないので過去問をベースとし、間違えた問題、自信のなかった選択肢をすべて調べ上げてノートに纏め、覚えるという作業を繰り返しました。ノートに纏める際は、体系的に纏めることを最初から意識して進めると、後々振り返る時に楽で良いと思います。

#### 【2次：専門記述式試験】

基本的に1次専門の試験勉強の延長と考えて良いと思います。数年分の過去問を解いた以外は、特別な対策はしていません。

#### 【2次：人物試験】

民間就活をこなせば自ずと対策が出来ていると考えて良いと思います。私の場合、試験前に頭の整理を付けることを目的として、面接カードに沿って想定質問集を自作しました。丸暗記をする必要はありません。

#### 【2次：政策課題討議試験】

民間のGDとは形式は異なりますが、相手の話をしっかり聞く、話を遮らない、相手を否定しない、自分ばかり喋り過ぎないなど、基本をしっかり身につけていれば問題ないと思います。対策としては、民間のインターンシップや、学生団体などが実施しているGD練習会に参加し、場数を踏むことが挙げられます。

#### ●面接で心がけたこと

何よりも伝えたいことをなるべく簡潔に話すことを意識しました。そのために、自分の考えや話したいこと、想定される質問に対する明快な回答を、ある程度文章として纏め、頭の整理を付けるようにしました。昔から話が長いと言われることが多かったので、特にその点は強く意識しました。

#### ●官庁訪問

緊張のあまり、面接中に普段通りに話す事が出来なくなったり、途中で大事なお守りを落としたり（無事見つかりました）、総じていろいろなハプニングがありました。しかし、そのような中でもしっかり気持ちを切り替えて面接に臨めたことは、非常に大きかったのではないかと思います。諦めずに最後までやり切ることが重要であると思います。

## ●アドバイス、メッセージ

まず、試験対策をいつから始めるかという点は、一つ大きな懸念事項だと思います。当たり前のことではありますが、短期間に集中的に公務員試験対策をやるか、研究や民間就活と両立させながら長期間ゆったりとやるか、今後の予定と現状の過去問の得点率と併せて考慮し、なるべく早い段階で大まかな計画を立てると良いと思います。

また、この就職活動全体を通して、環境省のインターンシップにおける経験が大きな支えになったと考えています。職員の方々に直接お話を伺い多くの学びを得たこと、職員の方々と比較して自分には何が足りていないのか把握できたこと、環境省への志望動機を再確認・強化することができたこと、そのすべてが私にとって大きな糧になったと思います。インターンシップへの参加を強くお勧めします。

最後になりますが、公務員試験対策含め、就職活動では辛い経験をすることもあるかと思っています。私も、併願先の民間を全落ちした状態で官庁訪問に臨むことになり、かなりの重圧を感じていました。そのような中でも結果を出せたのは、あらゆる選択肢を考慮した上で、環境省レンジャーとして働きたいと迷いなく思っていたこと、十分に対策できたことにより自信を持って本番に臨めたことが大きかったと思います。後悔なく就職活動を終えるためには、最後までやり切る、考え抜くことが重要であると思います。少しでも皆様の参考になれば嬉しく思います。ありがとうございました。

## (4)使用した参考書

### 【基礎能力試験】

- ・過去問 8 年分
- ・数的処理：畑中敦子のザ・ベストプラス、新スーパー過去問ゼミ、公務員試験 本気で合格! 過去問解きまくり!
- ・文章理解：新スーパー過去問ゼミ、公務員試験 本気で合格! 過去問解きまくり!
- ・時事：速攻の時事

### 【専門多肢選択式試験】

- ・過去問 12 年分
- ・森林環境科学、森林資源科学：林野庁 HP (法律、制度など)、森林林業白書 (統計など)
- ・造園計画 (自然公園)：環境省 HP (法律、制度など)、生物多様性国家戦略 2012-2020、(環境白書 (統計など))

## Bさん

### (1)プロフィール・試験区分等

【最終学歴】修士課程修了見込

【学年・性別】修士2年・男

【専攻科目】森林生態学

【試験区分】森林・自然環境（院卒）

【参加した説明会】WEB説明会や少人数相談会など10回

【ガクチカ】部活動・アルバイト・研究

【併願先】林野庁・国土交通省・陸上自衛隊・地方公共団体(造園職・環境職)・建設  
コンサルタント

### (2)志望動機

子供の頃から生物が好きで、将来は自然に関わる仕事に就きたいと考えていました。大学で自転車部に入り、全国を巡る中で、各地の人と自然が結びついたかけがえのない風土やそれを盛り上げようとする地域の人々の熱意を知りました。この経験を経て単に自然に関わるだけでなく、人と自然のつながりを守り、多様な地域を盛り上げたいと考えるようになりました。国立公園の管理やエコツーリズムの推進を通して、人と自然をつなぎ、地域社会を盛り上げることができる自然系職員を志望しました。

### (3)体験記

#### ●勉強方法

##### 【1次：基礎能力試験】

1年前の6月から基礎能力試験の勉強を開始し、1日20分ほど勉強しました。点数配分の大きい数的推理と判断推理の勉強がメインでした。この2科目は慣れが重要なので、毎日少しずつでも問題を解く習慣を身に着けるべきです。また、せっかく公務員を目指すならこれまで勉強する機会がなかった人文社会科目の知識も学びたい！と考え、歴史や経済学なども重点的に勉強しました。点数配分は少ないですが、覚えると安定的な得点源になります。

##### 【1次：専門多肢選択式試験】

1年前の10月から専門試験を1日2時間ほど勉強しました。まず森林・林業白書と森林・

林業実務必携を読み、わからない点を調べ、書き込む作業を行いました。その後、12月から環境省自然系や林野庁、国土交通省造園職が関わる法律と政令を e-Gov 法令検索を用いて読み、ノートにまとめました。2月から勉強時間を1日5時間ほどに増やし、過去問を2年分解きました。最初の過去問は12科目全て解き、わからない点を調べることで、得意科目がダメだったとしても対処できるようにしました。

### 【2次：専門記述式試験】

1次専門試験の勉強がそのまま2次試験対策になります。しかし、手書きで文章を作る機会は意外と少ないため、1次試験対策と併せてペンで文章を書く練習はしっかり行うべきかもしれません。

### 【2次：人物試験】

直前に国家公務員を目指す友達と zoom を用いて面接練習を行いました。本番に聞かれそうなことを調べた上でお互いに質問することで、志望理由等を練り上げていきました。

### 【2次：政策課題討議試験】

特に対策はしませんでした。民間企業のグループディスカッションを経験すると、要領を掴むことができます。

### ●面接で心がけたこと

官庁訪問は面接カードの内容が最も重要だと考えていました。2月に仮の面接カードを作成し、友人や家族、教授に繰り返し見せて意見をもらいました。なぜ環境省を目指すのか、今後どのように生きていくのか深く考える良い機会になりました。本番では、自分を無理に誇張することなく、対話することを心掛けました。ひととなりや正々堂々伝えた上で、職員の方々に判断していただくと考えました。憧れの自然系職員の方々との面接はとても緊張します。こればかりはどうしようもないので、緊張が力を発揮する原動力になると考えて前向きに取り組むようにしました。

### ●官庁訪問

官庁訪問の面接はテキパキした雰囲気、基本的に面接カードに沿って行われました。質問の内容は、民間企業の面接に近いです。特に対面の面接では、常に緊張した状態になってしまうので、休み時間に日比谷公園に行って気分をリフレッシュすることがオススメです。

### ●アドバイス、メッセージ

試験勉強に関して色々述べてきましたが、たくさんの世界に飛び込み、たくさんの経験をすることが一番の試験勉強になります。好奇心を持って泥臭く荒ぶりながら何事にもチ

チャレンジを続けていけば、おのずと自分が進むべき道が見えてくるはずです。多様な経験とそこから生まれた縁を生かして、頑張ってください。

#### (4)使用した参考書

- ・過去問（全ての科目）
- ・畑中敦子の数的推理ザ・ベストプラス（基礎能力試験：知能分野）
- ・畑中敦子の判断推理ザ・ベストプラス（基礎能力試験：知能分野）
- ・畑中敦子の資料解釈ザ・ベストプラス（基礎能力試験：知能分野）
- ・一般知識出るところチェック思想・文学・芸術（基礎能力試験：知能分野・知識分野）
- ・一般知識出るところチェック地理（基礎能力試験：知識分野）
- ・一般知識出るところチェック政治・経済（基礎能力試験：知識分野）
- ・速攻の時事（基礎能力試験：知識分野）
  
- ・林野庁のHP（1次専門試験：必須問題・森林環境科学・森林資源科学、2次専門試験：林科学に関する基礎）
- ・気象庁のHP（1次専門試験：必須問題）
- ・森林・林業白書（1次専門試験：必須問題・森林環境科学・森林資源科学、2次専門試験：森林科学に関する基礎）
- ・森林・林業実務必携（1次専門試験：必須問題・森林環境科学・森林資源科学、2次専門試験：森林科学に関する基礎）
- ・森林未来会議（1次専門試験：必須問題・森林環境科学・森林資源科学、2次専門試験：森林科学に関する基礎）
  
- ・環境省のHP（1次専門試験：造園計画（自然公園））
- ・自然公園の手びき（1次専門試験：造園計画（自然公園））
- ・国立公園論（1次専門試験：造園計画（自然公園））
- ・雑誌 国立公園（1次専門試験：造園計画（自然公園））
- ・自然公園実務必携（1次専門試験：造園計画（自然公園））
- ・ベーシック環境六法（1次専門試験：造園計画（自然公園））

## Cさん

### (1)プロフィール・試験区分等

【最終学歴】 修士課程修了見込

【学年・性別】 修士2年・女

【専攻科目】 進化生物学

【試験区分】 森林・自然環境（院卒）

【参加した説明会】 初めての人向け説明会、自然系業務説明会、JOBトーク

【ガクチカ】 研究、部活動

【併願先】 国家一般職、地方上級、独立行政法人

### (2)志望動機

幼い頃の自然体験を通じて自然や生き物を好きになり、豊かな自然がいつまでも続いてほしいと漠然と考えていました。学業や研究を通じて専門家と話す機会があり「研究だけでは実際の生物を保全することはできない」という言葉を耳にした際に、環境保全におけるステークホルダーの連携や、学術研究の成果を現場に落とし込むことの重要性に気づきました。そのため、自然の声と現場の声に耳を傾けて関係者を繋ぎ、調査研究の成果等を活用して政策立案を担うレンジャーを志しました。

### (3)体験記

#### ●勉強方法

##### 【1次:基礎能力試験】

約1年前から勉強を始めました。解き方に慣れるために、数的推理、判断推理、文章理解・資料解釈の新スーパー過去問ゼミを使い、過去問を人事院から入手してからは過去問ゼミの演習と並行して時間を計って過去問を解きました。試しに1年分の過去問を解いて時間が足りないことが分かったので、それからは時間内に合格点を取れるように意識して演習し、復習に力を入れました。特に、問題パターン毎の解法や計算時間の短縮法を身に付けることを意識しました。知識問題はほとんど対策せず、直前期に速攻の時事や公務員試験向けに時事のテーマをまとめた動画を視聴して、対策しました。

##### 【1次:専門多肢選択試験】

専門試験の内容についてほとんど知識がなかったため、基礎能力試験よりも専門試験の

勉強に重きを置きました。過去問を見て出題傾向をつかみ、関連知識を白書、森林林業実務必携、関係省庁のホームページを参考にまとめました。まとめた内容は繰り返し確認して頭に入れるようにしました。また、白書を読む習慣をつけて、足りない知識の埋め合わせをしました。これまで森林・自然環境区分の内容と縁遠かった方は、知らない知識ばかりで初めは苦勞するかもしれませんが、繰り返し過去問を解いたり白書を確認したりすると、次第に頭に入ってくると思います。

## 【2次:専門記述式試験】

1次試験が終わってから対策を始めました。基本的には1次試験と同様に勉強し、最近できた制度や法律、白書で取り上げられているトピックについて、背景、現在の取り組み、課題についてまとめ、制度や法律の変遷について説明できるようにしました。

## 【2次:人物試験】

面接カードは友人や大学のキャリアセンターで添削してもらいました。また、私自身は面接に苦手意識があったため、質問を予想してどのように答えるかをシミュレーションしたり、友人と模擬面接をしてアドバイスをもらったりしました。既に面接を経験している人からの指摘は参考になると思います。

## 【2次:政策課題討議試験】

時間が取れず、特に対策しませんでした。試験では、研究室のゼミなどを通じてディスカッションする習慣があったことが生かされました。しかし、試験本番ではうまくいかなかった部分もあったので、形式に沿って練習した方が良いかもしれません。時間が取れない方にも、試験形式を事前に把握すること、グループでの議論に慣れておくことをお勧めします。

## ●面接で心がけたこと

### 【事前準備】

面接カードに沿って面接が進むため、面接カードを作り込みました。同じエピソードでも書き方によって伝わり方が変わるので、自分以外の人に読んでいただいてアドバイスをもらうようにしました。また、大学のキャリアセンターやハローワークの模擬面接などで少しでも面接に慣れるように心がけました。

### 【当日】

面接当日はどうしても緊張してしまうので、「今できる最大限を発揮しよう」という心持ちで臨むことを心がけました。緊張しても大きく失敗しないように、事前に頭の整理をしておくなど、予め備えておくようにしました。面接の場では、面接官の方と対話することを意識しました。また、面接までの待ち時間があるので、面接カードのコピーや直前に確認しておきたい資料などを持参すると良いと思います。また、面接当日は思わぬ事態が起こる可能

性があるため、できるだけ心と時間に余裕をもつことをおすすめします（私は反対方向の電車に乗ってしまい、到着が予定していたよりも遅れました...）。

#### ●官庁訪問

官庁訪問では訪問者カードをもとに質問されます。最終合格者発表から官庁訪問までは日数が少ないので、訪問者カードはなるべく早く準備を始めることをおすすめします。内容は「これまで経験したこと、学んだこと、感じたことが環境省にどのように繋がるのか」や「他にも省庁はある中で、なぜ環境省なのか」が全体を通して伝わるように意識しました。面接当日は面接官と対話することを意識すると良いと思います。私自身は面接官と話す中で、環境省でやりたいことが事前に考えていたよりも具体的にまとまったように感じています。また、面接は緊張と不安でたまりませんでした。志望を伝えられる最後の機会だと考えるようにしたことで、最後まで諦めずに、自分の言葉で伝えられたのではないかと思います。

#### ●アドバイス、メッセージ

レンジャーの仕事内容は非常に多岐にわたります。環境分野を専門にしている方はもちろんのこと、環境分野を専攻していなくとも、興味をもって打ち込んできたことや、これまで感じてきた自然環境に対する課題意識がレンジャーの業務に繋がる可能性はあると思います。そのため、専攻する科目を通じて学び得たことやこれまで経験したことを振り返り、レンジャーの業務との繋がりを自分の言葉で伝えられるようにすることが大切なのではないかと思います。長くなりましたが、皆様が納得のいくような進路に進めることをお祈りしております。最後までお読みいただき、ありがとうございました。

### (4)使用した参考書

#### <基礎能力試験>

- ・過去問
- ・新スーパー過去問ゼミ（数的推理、判断推理、文章理解・資料解釈）
- ・速攻の時事

#### <専門試験>

- ・過去問
- ・森林林業実務必携
- ・森林林業白書
- ・環境白書
- ・環境省・林野庁のホームページ

#### <面接>



・現職人事が書いた「自己PR・志望動機・提出書類」の本

## Dさん

### (1)プロフィール・試験区分等

【最終学歴】修士課程修了見込

【学年・性別】修士2年・男

【専攻科目】造園学

【試験区分】森林・自然環境（院卒）

【参加した説明会】霞ヶ関 OPEN ゼミ（WEB）、総合職中央省庁セミナー（対面）、一般職各府省合同業務説明会（対面）、総合職1次合格者向け本府省合同業務説明会（WEB）、環境省総合職自然系座談会（WEB）、など計7回程度

【ガクチカ】自転車旅、研究活動

【併願先】国家一般職（林学区分）、東京都庁（I類B造園）、北海道庁（環境科学A）、民間1社（観光系シンクタンク）

### (2)志望動機

高校では山岳部に、大学ではサイクリング部に所属するなど、自然の中で遊ぶことが好きで、大学入学当初からあわよくば自然と関わる仕事がしたいという気持ちを持っていました。そんな気持ちから大学では造園学を専攻し、自然公園の利用と管理について研究してきました。国立公園をフィールドにした研究をする中で、日本の自然の素晴らしさを再認識する一方、人間が引き起こすオーバーユースの問題や、不十分な管理体制など、美しい景色の裏に様々な課題を抱えていることを目の当たりにしました。また、そうした課題に対して熱意を持って取り組む方々と出会う中で、自然公園を取り巻く社会や制度のしがらみが、彼らの取り組みを難しくしていることを知りました。彼らが今よりもっと効率的に課題に取り組んだり、協力したりできる仕組みを作れば、日本の自然公園はもっと楽しい場所になり、より多くの人々に自然の素晴らしさを伝えることができると考えました。このようなことから私は、自然公園の管理やその仕組みづくりに関わる仕事がしたいと考えるようになりました。色々と調べたところ、民間や地方公務員でもこうした仕事に関われなくもないですが、あくまで仕事の一部というところがほとんどでした。また、地域制を敷く日本の自然公園の管理や仕組みづくりにおいては、様々な立場の人々の理解と協力が不可欠です。国という影響力のある立場なら、多くの人々に話を聞いてもらうことができ、協力を得ることができると考えました。こうしたことを踏まえ、国という立場から、自然公園の仕組みを根本から変えるような仕事をしたいと考え、環境省の総合職レンジャーを志望しました。

### (3)体験記

#### ●勉強方法

##### 【1次:基礎能力試験】

###### ・数的処理

基礎能力試験の科目の中では一番多くの時間を割きました。大学生協の公務員講座を受講していたため、その講義テキストや問題集を利用しました。試験実施前年の12月頃から対策を始め、年内はテキストで基礎固めをし、年が明けてからは問題集（様々な公務員試験の過去問）を時間を計りながら2周解きました。（2周目は1周目で間違えたところや総合職試験での頻出分野中心。）

###### ・文章理解、資料解釈

こちらも公務員講座の問題集を利用しました。試験実施年の1月頃から対策を始め、回答時間を意識しながら毎日1、2問ずつ解くようにしていました。

###### ・知識分野（自然科学、人文・社会科学、時事）

自然科学については、高校のとき勉強しなかった生物と地学のみ、高校生用の図録を買って一通り読みました。この2科目は森林・自然環境の専門多肢の中でも出題されるので、私のように高校で生物や地学を勉強していない人は、基本的なことを把握しておくだけでも得点アップにつながります。時事については、「速攻の時事」を2周くらい流し見しました。人文・社会科学については対策していません。総合職の院卒者試験は、そもそも知識分野の出題数が少ないため、これらに時間を使うよりも専門科目の勉強をしたほうがよいです。（生物・地学についても、私はやりましたが時間対効果を考えるとあまりオススメできません。）

###### ・直前対策

試験の1ヶ月前くらいから、本番を想定して時間内に過去問を解く練習をしました。基礎能力試験は時間との戦いなので、本番での時間配分や目標点を意識しながら練習しました。

##### 【1次:専門多肢選択試験】

試験実施年の1月から対策を始めました。私は造園学を専攻しており、学部の講義等である程度勉強した経験があったことから、「造園計画(自然公園)」と「造園計画(都市公園)」をまず選択しました。残り1科目については、一般職を併願するためのみち林学を1から勉強しなくてはいけなかったため、「森林環境科学」を選択しました。これらの分野には市販のテキストが存在しないので、人事院から過去問を6年分取り寄せ、問題を1問ずつルーズリーフに貼り付けて自分で解説書を作るという方法で勉強しました。後述する各種参考書やウェブサイトの情報をもとに、正答ではない選択肢についてもどこが間違っているのかを検討しながら、体系的に情報を整理しました。これにより、過去問に直接的に出てきた内容だけでなく、その周辺知識も抑えることができました。解説書の作成が終わったら、

試験当日までは過去問を繰り返し解きました。

### 【2次:専門記述式試験】

1次試験対策で林学系と造園学系を両方勉強することになったので、「森林科学に関する基礎」と「自然環境・公園緑地に関する基礎」のどちらかを選択するつもりで、一応両方の対策をしました。2次に特化した対策は1次試験が終わってから始め、1次対策でインプットした知識を整理して記述する練習を、過去問を使って行いました。本番ではどちらの科目を選択するか30分間悩んだ挙句、最終的には「森林科学に関する基礎」を解きました。

あくまで個人的な意見ですが、1科目だけ対策するなら「森林科学に関する基礎」を選択するのが一番対策をしやすいと思います。理由は「森林・林業白書」を一冊頭に叩き込めば、合格点を取るには十分な知識が得られるからです。「自然環境・公園緑地に関する基礎」は、どこから出るか予測しづらいので、効率的に対策するのは難しいと感じました。

### 【2次:人物試験】

私は民間をほぼ受けていなかったもので、受講していた公務員講座を利用して対策をしました。試験実施年の4月から、講座の講師による模擬面接を週に1回は受けるようにしていました。人事院面接は典型的なコンピテンシー型面接ですが、カードに書ける文字数が限られているので、簡潔で要点が伝わりやすく質問を誘導できるようなカードづくりが重要だと思います。

### 【2次:政策課題討議試験】

グループディスカッションの経験がなかったので、大学のキャリアセンターが2次試験の前に開催してくれた練習に3回ほど参加しました。制限時間内に自分の意見をまとめたレジュメを作ることなど、ある程度慣れが必要であると感じたので、何回か練習をすることが有効であると思います。

#### ●面接で心がけたこと

##### ・面接の土台づくり

私の環境省への志望の原点は国立公園にあるため、研究で関わる国立公園を中心に、その場所が抱える問題を解決するために自分は環境省で何がしたいかを考えるようにしていました。また、自分の考えをブラッシュアップするために、先輩レンジャーの方へのOB訪問をしたり、環境省以外のレンジャーの方にもお話を聞いたりしました。国立公園管理の最前線を見たいという気持ちから、公園管理団体での住み込みアルバイトもしました。こうして自分の目で見たり、聞いたりしたことが、志望動機や考え方を固めるのに非常に有益であったと思います。

##### ・実際の面接を意識した対策

面接でのアウトプットの対策には場数を踏むことが一番重要であると思います。自分の考えや経験を、相手に伝わるようコンパクトに説明できるようになるには意外と鍛錬が必要でした。前述のように、民間をほぼ受けなかった私は、公務員講座の模擬面接などを利用して、とにかく数をこなすことを意識しました。練習を重ねることで、「こう聞かれたらこう答える」という引き出しがたくさんでき、自信を持って落ちついた受け答えができるようになったと思います。

- ・面接当日の心構え

平常心を保てるのに越したことはないですが、例え緊張しても、とにかく自分のやってきた準備を信じるだけだと思います。私は歩き回ると緊張が少しほぐれるので、それが許される状況下では、歩き回って気を紛らわすようにしました。

## ●官庁訪問

- ・訪問者カードについて

訪問者カードは、官庁訪問申込開始のわりと直前にならないと HP に掲載されません。しかし、ネットで検索すれば前の年の訪問者カードを入手できます。フォーマットはほとんど変わらないので、前年のカードを使って早めに書く内容を練ることをオススメします。

- ・実際の訪問について

令和3年度の官庁訪問は、第1クールがWEB面接、第2クールが環境省本省での面接でした。環境省には第1クール初日に訪問しました。画面越しでしたが、面接官の職員の方々は穏やかに話を聞いてくださり、こちらも落ち着いて話すことができました。逆質問でも私の考えに対してフィードバックを下さるなど、真摯に対応していただきました。私は地方在住なので、第2クールの際は霞ヶ関まで電車で1時間で行ける祖母の家を拠点にしました。本省での面接前は日比谷公園や虎ノ門周辺をうろうろして、緊張を紛らわせようとしました。しかし、面接本番では流石にかなり緊張し、自分が何を言ったか覚えていないところもあります。面接全体を通して、想像していたより政策に関する深い突っ込みはなく、むしろ趣味や特技について一番突っ込まれたような気さえしました。結局、何を評価されているかは分からないものなので、あまり気負わずに臨むことが重要なのだと思います。(難しいことですが。)

- ・他省庁への訪問について

第1クールでは環境省の他に、林野庁と国土交通省(11番窓口・造園)を訪問しました。どちらも第1クールで落ちましたが、他の省庁の職員の雰囲気や自然に対する考え方を知ることができ、良い経験になりました。

#### ●アドバイス、メッセージ

私が個人的に一番大事だと思うのは、「やれることは全部やる」という気持ちです。試験勉強はもちろんですが、説明会への参加やOB・OG訪問など、環境省に受かるためにプラスになりそうなことは全部やる、という貪欲な気持ちが重要であると思います。その上で「やれることは全てやった」と思える状態になれば、自信を持って臨むことができるし、自ずと結果もついてくるのだと思います。また、長い公務員試験のフローの中ではモチベーションが下がるようなこともあると思います。そんな時は自分が環境省に採用されて働いている姿を想像すると良いと思います。私はレンジャーの緑色のユニフォームを着て仕事をしている自分の姿を想像して、気持ちを奮い立たせていました。

最後までお読み頂きありがとうございました。皆様がレンジャーを目指す中でここに書いた情報が少しでもお役に立てば幸いです。頑張ってください！！

#### (4)使用した参考書

##### 【基礎能力試験】

- ・ 数的処理: 大学生協公務員講座のテキストと問題集、過去問
- ・ 文章理解、資料解釈: 大学生協公務員講座の問題集、過去問
- ・ 生物、地学: 視覚でとらえるフォトサイエンス 生物/地学図録 (数研出版)
- ・ 時事: 速攻の時事 (実務教育出版)

##### 【専門試験】

○1 次(森林環境科学)および2 次(森林科学に関する基礎):

- ・ 過去問
- ・ 森林・林業白書 (林野庁)
- ・ 森林・林業実務必携 (朝倉書店)
- ・ 林野庁 HP

○1 次(造園計画 (自然公園) )および2 次(自然環境・公園緑地に関する基礎)

- ・ 過去問
- ・ 自然公園の手びき (自然公園財団)
- ・ 日本の国立公園 (自然公園財団)
- ・ 環境省 HP

○1 次(造園計画 (都市公園) )および2 次(自然環境・公園緑地に関する基礎)

- ・ 過去問
- ・ 国土交通省 HP

## Eさん

### (1)プロフィール・試験区分等

【最終学歴】修士課程修了(2018年度)→民間企業勤務

【学年・性別】社会人3年目・男

【専攻科目】生圏システム学専攻(緑地計画学)

【試験区分】森林・自然環境(院卒)

【参加した説明会】自然系業務説明会計4回

【ガクチカ】部活動(陸上競技)

【併願先】なし

### (2)志望動機

私は幼少期に南アフリカで過ごしていた時期があり、当地の雄大な自然や、現地にて開催された持続可能な開発に関する世界首脳会議(地球サミット 2002)の情報に触れるうちに、自然・環境問題に携わる仕事を志すようになりました。新卒時には、環境問題に大きなインパクトを持つ事業において経済的合理性を保ちながら人間・自然双方の利益に帰する取り組みをしてみたいと思いました。そして、これまで商社のエネルギー関連の鋼材を扱う部署にて化石資源の開発に携わってきました。環境問題の解決には、民間・行政双方の取組が不可欠だと思いますが、実際に民間から関わったことで、行政の役割の重要・必要性を再認識しました。では、何故事務系や他の省庁ではなくレンジャーなのか、という話になりますが、民間企業で働く中で特に必要だと感じたのは、個々人の意識レベルの変化です。この1年で「脱炭素」を合言葉に社会が大きく転換したようにも見えますが、民間企業の意味決定をする立場にある人の全てが、その先にある意義を理解しているとは言い切れないのが現状です。そのような人たちに、時に直接、時に国立公園などを通して間接的に環境問題に取り組む意義を伝えていくことが出来るのが、レンジャーという仕事なのではないかと思い、今回志望するに至りました。

### (3)体験記

#### ●勉強方法

フルタイムで勤務をしながらの受験であったので、全試験を通して少ない勉強時間でいかに最低限の得点を確保するかに努めました。体裁良く言いましたが、取れる部分は確実にとり、わからない分野は諦める！(し、勉強も手を出さない)という姿勢で臨みました。レ

ンジャーは他の採用区分と比べて、試験の点数は重視していないのではないかと思う（あくまで他の人の話などを聞いた体感ですが）ので、とにかく筆記試験は合格だけを目指しました。

#### 【1 次:基礎能力試験】

試験直前に2年分問題を解き、時間配分だけを決めました。特に数的処理・判断推理の時間が足りなくなることは間違いなかったので、1問でも多く解ければラッキーくらいの気持ちで挑み、本番わからなくても焦らないよう心の準備はしていました。

#### 【1 次:専門多肢選択試験】

3月から勉強を開始し、過去問7年分を解きました。注力分野の中で間違えた箇所・不明瞭だった部分をExcelに分野ごとにまとめたリストを作成し、試験前に読み返していました。

#### 【2 次:専門記述式試験】

1次終了後に勉強を開始し、過去問5年分に目を通しました。実際に問題を解く前に知識が不足している箇所をピックアップ(特に法制度関連)。参考書を下記3冊に絞り、じっくり読み込んだ上でピックアップ部分をまとめたリストを1次と同様に作成しました。

#### 【2 次:人物試験】【2 次:政策課題討議試験】

特に対策はしていません。人物試験については事前に質問の想定をしておくことももちろん重要ですが、ただ用意した答えをそのまま返すだけでなく、面接官と対話するという意識があると良いのではないかと思います。政策課題討議も同様に、自分の意見を伝えるだけでなく相手の話を聞き、お互いに会話しあうことを意識しました。

#### ●面接で心がけたこと

「なぜ新卒時は民間に就職し、現在環境省を志望するに至ったのか」という点を理解してもらうことが最大のポイントだと考えていました。そこで、新卒時・現在の考え方や決断に影響を及ぼした事象をリストアップして整理をしました。一方で、質問の先にある意図(相手が知りたいこと)は何なのかを考え、人物試験と同様に用意した答えをただ返すだけにならないよう注意しました。

#### ●官庁訪問

##### ・訪問カード

自分の記入した訪問カードの内容がやり取りの基本になるので、自分の話したい内容のきっかけとなる要素をちりばめておきました。逆に言うと突っ込まれても深くは話せない



ことは記載を避けました。

・訪問当日

第1クールはweb、第2クールは本省での面接でした。本省に行った際は会議室にて他の受験者の方たちと一緒に待機することになりましたが、雑談をするうちに緊張がほぐれました。その後、面接の前に別フロアに移動し、廊下等で待機をすることになりますが、この間に一気に緊張が高まっていくかと思います。しかし、訪問カードを記入した段階で入念な準備ができていれば、突拍子もないことを聞かれることはないはずだと自分に言い聞かせていました。職員の方も優しく耳を傾けてくれたので、特に気を張りすぎずに臨むことができました。

●アドバイス、メッセージ

【社会人から合格を目指す方へのアドバイス】

現職がある中でわざわざ受験をしているのですから、筆記試験に合格さえすれば志望の本気度という点に関しては学生の受験者よりも示しやすいのかなと勝手に思っています。そういう意味でも、官庁訪問では、自分がどういう経験をしてきて、現在の考え方にどう繋がっているのかという点を伝えられるかがカギになると思います。他の人と異なるバックグラウンドを持っていることは大きな武器になると信じて、しっかりと自分のこれまでの経験と、そこから得た熱い想いを伝えましょう。

(4)使用した参考書

【全科目】

・過去問

【1次2次専門】

- ・日本の自然環境政策(武内和彦・渡辺綱男)
- ・ランドスケープエコロジー(武内和彦)
- ・都市緑地制度論考(舟引敏明)

(いずれもやや古い本なので、特に法制度については環境省のHP等で最新のトピックを確認することをお勧めします。)

## Fさん

### (1)プロフィール・試験区分等

【最終学歴】修士課程修了見込

【学年・性別】修士2年・女

【専攻科目】生物材料科学専攻(林産学)

【試験区分】森林・自然環境(院卒)

【参加した説明会】web交流会(5回)、サマートライアル(学部生時代)

【ガクチカ】部活動

【併願先】環境コンサル、住宅メーカー(他にも銀行、商社など色々見ていました。)

### (2)志望動機

自然環境の保全のために働きたかったこと、現場と本省両方を経験できる環境省での働き方に魅力を感じ、環境省を志望しました。比較的自然豊かな地域で、アウトドア好きな家族に囲まれて育ち、小さい頃から野遊びが大好きでした。そのため、小さい頃から自然に関わる仕事がしたいと漠然と考えていました。就職活動では環境省だけでなく、民間企業も見ました。その中で「自然環境」というテーマを扱い、現場や本省を行き来して日本の自然環境を取り巻く課題について多面的に考えることができる環境省での働き方に魅力を感じ、志望するに至りました。

### (3)体験記

#### ●勉強方法

過去の合格点から各試験でとるべき点数を把握し、満点ではなく合格点を目指す勉強をしていました。おかげで民間就活や修士研究への支障を少なくできました。

#### 【1次試験対策】

大学4年時に大卒試験を受験する際に、「森林・林業実務必携」の中から林産学に該当する箇所のまとめノートを作成しました。ちなみに大卒試験は不合格でした。院卒試験勉強は、修士1年3月に開始し、最初はまとめノートのおさらいをしました。4月から本腰を入れて勉強を開始しました。基礎能力試験は過去問で対策しました。専門試験も、過去問を解き、間違えた箇所をおさらいして周辺知識を頭に入れました。

## 【2 次試験対策】

1次試験後に勉強を開始しました。過去問を解き、まとめノートや林業白書を参照し答え合わせをしたほか、答案を研究室の方に添削してもらいました。まとめノートにはその都度加筆を行いました。時間はたっぷりあるので、やみくもに解答を書き進めるのではなく、内容を整理してから書くと良いです。

## 【政策討議試験】

過去の内定者の声で見つけた、「公務員講座に払う金があったら旅行にでも行ってこい」をいうサイトを参照し、レジユメの作成方法、当日の進行を頭に入れました。

### ●面接で心がけたこと

事前準備として、訪問者カード作成後、研究室の方々や家族に添削を依頼しました。この過程により、文章を明瞭にできただけでなく、自己理解を深め、より自分らしい訪問者カードを作ることができました。他には、内定者の声などから、想定される質問リストとその回答を作成しました。官庁訪問3日前からは緊張のあまり、まともに対策できませんでした。対策は早めにしておくと良いです。当日は、とにかく落ち着いて素直に話すことを心がけ、面接後は一人で反省会を行いました。

### ●官庁訪問

官庁訪問3日前から、ものすごく緊張していたので、気持ちを落ち着かせるためにひたすら本を読みこみました。そのおかげで、本に出てきた言葉を借りて自分の考えを再整理できました。官庁訪問期間中は緊張するので、リフレッシュは忘れずに！

官庁訪問本番では、環境省のみ訪問しました。研究室の用事があったため、第1クールは3日目に訪問しました。面接で意見を求められた際に、かっこつけないことを意識するあまり「自分の意見はない」と答えてしまったときは焦りました。官庁訪問ではハプニングはつきものなので、いちいち一喜一憂せず、次に最善策をとれるように対策出来る方が良いですね。

### ●アドバイス、メッセージ

今という時間を大切に、精一杯楽しみながらお過ごしください。私のように、就活という将来のための活動についつい時間を割いてしまいがちな方は、無理やりにでも自分の好きなことに割く時間を作ってください。楽しい経験は、就活だけではなく、生きていく上での糧になります。

私は林産学を専攻しており、レンジャーとしては特殊かと思います。しかし、その特殊さが就職活動では強みになったと思います。私と同様の方々、自分のバックグラウンドはレンジャー向きでないと悲観に暮れずに、むしろ強みだと思って就職活動に臨んでくださ

い！健闘を祈ります！

#### (4)使用した参考書

- ・森林・林業実務必携(1次、2次試験ともに選択問題に役立ちました。)
- ・森林・林業白書(1次試験も2次試験も白書から多くの問題が出題されていました。概要だけでもしっかり頭に入れておくと良いと思います。)

## Gさん

### (1)プロフィール・試験区分等

【最終学歴】修士課程修了見込

【学年・性別】6年・男

【専攻科目】獣医学(病理学)

【試験区分】化学・生物・薬学(院卒)

【参加した説明会】環境省自然系 保全管理編、OPEN セミ、特許庁テイラーメイド型説明会、官庁訪問直前説明会(環境省、国税庁、農水省、経産省)

【併願先】独立行政法人、開発コンサル

### (2)志望動機

小学校の頃より、環境問題全般に対し興味を持ち、環境省でその問題解決に関わりたいたいと漠然と考えていました。中学高校で地元のラムサール条約登録湿地で保全活動に関わることで、特定の地域の生物多様性の保全に関りたいと思う様になりました。その一方で、地域ごとの生物多様性の保全には環境に興味がある人だけでなく、人間社会システム自体を巻き込む必要があることに気付き、国レベルで変革をしたいと思います、国と地方の双方に関われるレンジャーを志望しました。

### (3)体験記

#### ●勉強方法

2020年1月:参考書や過去問を揃え始めました(環境省でのインターンが緊急事態宣言で流れたため、内定者の声を熟読した)。

2020年2月:試験区分についてまだ悩んでいたため、1次試験の基礎能力対策をまず始めました。過去問を自力で解き、誤答が多い分野の解説を丁寧に確認しました。

2020年3月:OPENゼミを経て、試験区分を決めました。内定者の声より同じ試験区分かつ専攻分野が同じ人の勉強法を分析し、1次・2次の選択科目を決めました。殆ど勉強したことが無かった食品学と他の全ての選択科目の基礎となる生化学に重点を置いて、参考書をノートにまとめ始めました。隙間時間は選択科目に関連したYoutubeの動画を視聴しました。

2020年4月:1次試験の過去問をひたすら解き、誤答した問題の関連分野を復習しました。どの分野に何分かけられるか計算し、その時間内に解けるように練習しました。1次・2次

試験での出題傾向を整理し、出題がありそうな分野の目星を付けました。

2020年5月：2次試験の最新年度の過去問を時間通りに解いてみました。ここで不安を感じた分野と、1次試験で成績が芳しくなかった分野について、参考書を再確認し、理解しきれていないと感じた分野は詳しい参考書の説明を丁寧に読み解き、理解を深めました。その上で、過去問を解き、各設問に対し、自分で解説できるくらいまで調べ直す作業を年度ごとに繰り返しました。尚、保険のために合計4科目、勉強しました。

#### ●面接で心がけたこと

面接で問われることは自分が面接カードや訪問者カードに記したことに従います。そのため、各設問が問うていることを十分に考えた上で、自分がこれまで経験してきたことのうち、特に示したいことと照らし合わせました。この作業を丁寧に行ったお陰で各設問について詳しく聴かれても自分が答えるべき内容に見当をつけることができました。また、面接カードでは敢えて質問したくなるような書き方をして、そこに対する想定質問とその回答を自分で練習を行い、親にも似たような質問を用いた面接の練習につきあって貰いました。

#### ●官庁訪問

官庁訪問の予約が遅く、第1・2クールは環境省を訪問するのが2日目になりました。ただお陰で、官庁訪問独特の緊張感や職員の方々との面接も含めた受け答えを実地で練習することができました。また、他の省庁を訪れたお陰で関心がある・ない領域の課題解決としてどんな政策が取られているのか学ぶことができ、政策一般に対する理解や言葉遣いを理解できました。同じく官庁訪問していた大学の同期と連絡とりながら、緊張をほぐしつつ、選択を悩んだ時は積極的に、官僚経験者に相談をしました。終えてから思うことは、政策に対する知識量よりも、自分がどんな課題になぜ興味があり、どういった手法で解決したいのか、そう思うのはどういう経験や考えからか、ということを手早く整理できていれば、面接で困ることはない、ということです。どの省庁に進みたいのか悩んだ時に組織ごとのビジョンの違いを認識したおかげで最終的な決断できました。各省庁が何を実現したいのか事前に精査しておけると悩み過ぎずに済むと感じました。

#### ●アドバイス、メッセージ

(主に筆記試験について) 現在の試験形態で問われているのは、短時間で多くの設問に対して確実に知識を運用できるかということだと思いため、そのパフォーマンスを試験までに最大限上げるにはどうしたらよいか逆算して準備することをおすすめします。例えば、参考書選びについて、試験区分を問わず、どの程度の解像度で知識が求められるかをまず把握することによって、どれほど詳しい書を選ぶかを絞ることができます。能力が足りない・知識が定着していない場合は、間違いなく不足分の勉強をしないとはいけませんが、勉強量が多い場合はいかに一人で継続して勉強できるかが極めて重要になってきます。自分も

そうでしたが、理系の区分だと志望先・試験区分・能力の程度が友人と被ることは稀であり、この点は大学受験や学期末試験と違います。そのため、研究や学業、バイトの合間で孤独に努力することを強いられます。個人の意志だけでは限界があると思うので、学習環境について工夫が必要です。それは誘惑が少ない環境で勉強することかもしれないし、ポモドーロテクニックの活用かもしれないし、Youtube の一緒に勉強動画を視聴しながら取り組むことかもしれないです。試験運用側が合格させたい資質の持ち主であれば、正しく勉強できれば、十分勝てる闘いだと思います。これを読んでくれた皆さんの健闘を祈ります。

#### (4)使用した参考書

##### 【全試験過程】

・内定者の声（過去5年度分）

##### 【1次】

（基礎能力）

・新スーパー過去問ゼミシリーズ

・過去問500

（食品学以外全選択科目）

・フォトサイエンス生物図録

・ニューステージ化学図表

・Essential 細胞生物学

・Youtube「黒田裕樹の生物学講義」

（食品学）

・食品学－食品成分と機能性

・Youtube「管栄通宝」

（放射線生物学）

・放射線生物学(放射線双書)

（生態学）

・生態学入門第2版

（生化学・分子生物学）

・生物を知るための生化学

・ひとりでマスターする生化学

・生化学・分子生物学演習

（遺伝学）

・基礎生物学テキストシリーズ 遺伝学

##### 【2次】

（全選択科目）

- ・ 過去問  
(食品学)
- ・ 食品学ー食品成分と機能性  
(生化学)
- ・ カラー図解 見てわかる生化学  
(生化学・分子生物学)
- ・ Essential 細胞生物学
- ・ 生化学分子生物学演習
- ・ 基礎講義 遺伝子工学II：アクティブラーニングにも対応
- 【その他 参考サイト】
- ・ 国家総合職（化学生物薬学）試験対策 kaseiyaku.com
- ・ 【独学】分子生物学のおすすめテキスト・勉強法を書いている
- 【官庁訪問】
- ・ 現職人事が書いた「面接試験・官庁訪問」の本



## Hさん

### (1)プロフィール・試験区分等

- 【最終学歴】 修士課程修了見込
- 【学年・性別】 修士2年・女
- 【専攻科目】 生物多様性・生態学
- 【試験区分】 化学・生物・薬学（院卒）
- 【参加した説明会】 環境省自然系業務説明会(オンライン)4回
- 【併願先】 文部科学省、地方公務員、民間企業（メーカー）

### (2)志望動機

大学の自然観察サークルでの活動を通じて、自然環境や生物多様性のもたらす文化的価値をより多くの人に伝えたいと考えるようになったことがきっかけです。また、日本の多様な自然環境からもたらされる文化的価値を人々の暮らしに還元するためには、自然環境の整備や保全が必要不可欠だと考え、環境省ならばそれらを大きなスケールで実現する事ができると思い志望しました。

### (3)体験記

#### ●勉強方法

##### 【1 次基礎能力試験】

3月末から過去問を用いて勉強を始めました。最初の二週間は時間を計らずに自力で一通り問題を解く練習をし、自分の得意な問題や苦手な問題を把握することに努めました。試験前の一週間は、本番と同じ様に時間を計って解くことを繰り返しました。

##### 【1 次専門多肢選択式試験・2 次専門記述式試験】

3月末から、大学で使用している参考書を中心に準備しました。人事院の採用情報 NAVI に掲載されている試験問題例や受験案内からどの分野を回答するのかあらかじめ決めておき、各分野に関して集中的に勉強するようにしました。特に生態学の対策には生態学入門を、それ以外の分野にはアメリカ版大学生物学の教科書などを用いました。

## 【2 次人物試験】

民間を受けていたこともあり、あまり緊張せずに臨むことができました。特別な準備はしませんでした。面接カードに記入した志望動機や過去のエピソードを自分の中で整理するように務めました。

## 【2 次政策課題討議試験】

特別な準備はしませんでした。試験では、根拠に基づいて意見する事、また、様々な立場から物事を考えグループ全体で多角的に議論できるよう意識しました。

### ●面接で心がけたこと

面接では、自分の考えをはっきりと示すこと、焦らずにゆっくりと話すことを特に意識しました。また、事前準備として、なぜ国家公務員なのか、なぜ環境省なのか、なぜ自然系なのか、と各スケールで志望動機を整理しました。

### ●官庁訪問

最初はずごく緊張していたのですが、面接と言うより意見交換のような感じで自分の考えに対して様々な角度からアドバイスしていただき、楽しみながら官庁訪問をする事ができました。面接の回数を重ねるにつれて、自分が環境省で何を目指しているのか、何ができるのかといったことが明確になっていき、環境省を志望する気持ちが強くなっていきました。第2クールでは、面接室に向かうエレベーターの中でも、職員の方からたくさん声をかけていただき、元気が出ました。

### ●アドバイス、メッセージ

国家公務員試験の勉強は、勉強時間の確保はある程度必要だとは思いますが、それよりも勉強効率を重視した方が良いと思います。特に1次の基礎能力試験は、時間との勝負になるので、時間を計測しながら短期集中的に対策するのが良いと思います。

また、これは就活全体の話になるのですが、就職活動では必要以上に焦らないこと、試験や面接の結果で一喜一憂しないことが重要だと思います。自分は就活を始めたのが修士1年の3月中旬で、周りに比べてかなり出遅れていました。周囲はとっくに就活や試験勉強をスタートしており、内心焦る気持ちが大きかったことを覚えています。しかし、自分には自分のペースがあると言い聞かせながら、毎日のスケジュール管理を徹底して就活を進めたことが内定に繋がったのだと思います。その人にはその人のペース配分や向き不向きがあると思うので、周りとはあまり比較せずに自分の力を見極めながら就活を進めて欲しいと思います。

皆様の参考になれば幸いです。読んでいただきありがとうございます。

#### (4)使用した参考書

##### 【1 次基礎能力試験】

・国家総合職・教養試験 過去問500

##### 【1 次専門多肢選択式試験・2 次専門記述式試験】

・生態学入門（遺伝学・進化学、生態学(動物行動学を含む)、系統分類学)

・アメリカ版大学生物学の教科書（生化学・分子生物学、応用微生物学・生物工程、発生生物学・生理学、細胞生物学(形態学を含む)、放射線生物学)

# 受験で使用した参考書一覧

※赤字のものは2人以上が利用していた参考書・資料です。

## ○基礎能力試験

- ・過去問（5~8年分）
- ・速攻の時事（資格試験研究会）
- ・国家総合職 教養試験 過去問 500
- ・畑中敦子の数的推理ザ・ベストプラス
- ・新スーパー過去問ゼミ（数的処理、判断推理、文章理解・資料解釈）
- ・畑中敦子の判断推理ザ・ベストプラス
- ・畑中敦子の資料解釈ザ・ベストプラス
- ・一般知識出るところチェック（思想・文学・芸術、地理、政治・経済）
- ・公務員試験 本気で合格！過去問解きまくり！
- ・大学生協公務員講座のテキストと問題集

## ○専門試験

### <森林・自然環境区分>

- ・過去問（5~12年分）
- ・森林・林業白書
- ・環境白書
- ・環境省、林野庁のHP
- ・森林・林業実務必携（森林・林業実務必携編集委員会）
- ・自然公園の手びき（自然公園財団）
- ・国交省（気象庁）のHP
- ・生物多様性国家戦略2012-2020
- ・自然公園実務必携（環境省国立公園課）
- ・森林未来会議（熊崎実他・速水亨・石崎涼子）
- ・ベーシック環境六法（ISO環境法研究会）
- ・日本の自然環境政策（武内和彦・渡辺綱男）
- ・ランドスケープエコロジー（武内和彦）
- ・都市緑地制度論考（舟引敏明）
- ・日本の国立公園（自然公園財団）
- ・雑誌 国立公園（自然公園財団）

## <生物・化学・薬学区分>

- ・生態学入門（日本生態学会）
- ・アメリカ版大学生物学の教科書（サダヴァ D.）
- ・フォトサイエンス生物図録（鈴木孝仁）
- ・ニューステージ化学図表（浜島書店）
- ・Essential 細胞生物学（中村桂子・松原謙一・榎佳之・水島昇）
- ・YouTube「黒田裕樹の生物学講義」
- ・食品学—食品成分と機能性（久保田紀久枝・森光康次郎）
- ・YouTube「管栄通宝」
- ・放射線生物学（杉浦紳之・山西弘城）
- ・生物を知るための生化学（池北雅彦・榎並勲・辻勉）
- ・ひとりでマスターする生化学（亀井碩哉）
- ・生化学・分子生物学演習（猪飼篤・野島博）
- ・カラー図解 見てわかる生化学（川村越）
- ・基礎生物学テキストシリーズ 遺伝学（中村千春）
- ・基礎講義 遺伝子工学II（深見希代子・山岸明彦）
- ・参考ウェブサイト（国家総合職（化学生物薬学）試験対策 [kaseiyaku.com](http://kaseiyaku.com)、【独学】分子生物学のおすすめテキスト・勉強法を書いてみる）

## ○面接・官庁訪問

- ・現職人事が書いた「面接試験・官庁訪問」の本（大賀英徳）

## ○その他

- ・内定者の声

最後まで読んでいただきありがとうございます。  
様々な想いをもち、それぞれに工夫・努力して内定者となりましたが、一年前は皆さんと同じく一志望者でした。  
決して不可能な道でないことを、本冊子を通じて示せたなら幸いです。